



# 財政事情に関する公表書

豊能町の令和2年度予算における財政事情は、次のとおりです。

令和3年 2月 1日

豊能町長 塩川 恒敏



現在、我が国の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあります。持ち直しの動きがみられます。

先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されますが、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要があるところです。

このように、我が国の景気については、厳しい状況の中、持ち直しの動きが見られていますが、本町の財政状況については、依然として厳しい状況が続いています。歳入については、人口の減少や少子高齢化などによって、主たる自主財源である地方税の減少傾向が続いており、普通交付税などの依存財源（国や府が決定した額により交付される収入）への依存度がますます高まる状況が続いています。

一方、歳出については、高齢化に伴う医療費、社会保障関係の扶助費等が増加傾向にあり、今後においては、公共施設やインフラ施設の大規模改修費、また、令和8年度の開校を目指し小中一貫校教育施設の整備を行うため、増加する傾向になると予想されます。

このように厳しい財政状況ではありますが、令和元年度に「豊能町行財政改革プラン2019」を策定し、事務事業の廃止・縮小・類似する事業の統合を図ることや、公共施設の再編・再配置や統合など、公共施設の今後のあり方についても検討し、将来的には、基金の取り崩しに頼らない健全な財政運営を目指してまいります。

令和2年度の一般会計予算総額は、令和2年12月末現在で、98億8,595万4千円、当初予算から30億1,809万5千円、前年度同期と比較して、22.4%の増となっています。

令和2年度一般会計の4月から12月の収入済額は、68億3,732万9千円、前年度同期と比較して、43.2%の増であり、支出済額は、59億2,050万5千円、前年度同期と比較して、39.7%の増という状況にあります。また、支出の執行率は59.9%で、前年度同期より7.4%上回っています。歳入、歳出ともに国からの新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金により当初予算から大幅な増額となっております。

令和2年度の一般会計及び特別会計における4月から12月までの予算執行状況は、別添のとおりです。